



# 志木三小だより

学校運営協議会スローガン「ともに愛そう わがまち わが学校」

志木市立志木第三小学校

令和4年11月30日

志木市柏町3丁目2番1号

TEL 048-471-1062

## 幸福感はどこから来るのか ～「自己決定」の大切さを考える～

校長 関根 久美子

以前、私が勤務していた小学校の、はす向かいには県立高校がありました。最寄りの駅からは歩いて7分ぐらいありました。その高校の卒業証書授与式に参列させていただいたとき、校長先生が次のようなお話をされました。

卒業証書授与が中心ですが、今日はどうしても一人の生徒に賞状をあげたいのです。その生徒は、入学してしばらくすると、駅から学校までの道にたばこの吸い殻や、ごみが落ちていることに気が付きました。そしてその日から毎日、ごみを拾って登校してきました。実は、前に一度、「全校生徒の前で話をして、表彰したい。」と言ったのですが、生徒は「やめてください。」と言ったので、表彰しませんでした。

けれども、卒業証書授与式にあたって、もう一度「君の行いは決して誰でもできるということではない。私が感動したので、表彰させてくれ。」とお願いしました。生徒はしばらく考えましたが、小さくうなづきました。ですから、今日は、この生徒の行いについて話した後表彰します。

この生徒が3年間毎日、ごみを拾い続けたこと、本当に感動しました。良いとわかっていることでも、行動に移すことは難しいことがあります。後で「あの時、ああしておけばよかった。」と後悔することもあります。まして、誰かからほめられるわけでもなく、誰かから「やれ」と言われたわけでもなく、自分の考えで、「続ける」ということは本当に難しいことですし、価値のあることです。自分の行動を「自分で決める」つまり「自己決定」することは大切なことで、正しい「自己決定」のために、家庭教育があり、学校教育があります。子供たちは小学校に入学する前から、小さな「自己決定」の積み重ねで、成長しています。幼稚園でおもちゃを取りあった時、見たいテレビがあっても寝なければならない時、些細なことですが、自分の行動を決める大事な「自己決定」の場面です。この時に「まだ子供だから」と思わずに、大人が見守りながら「自己決定」させてください。

「幸福感に影響するものは何か」という研究のデータを目にしました。「所得が高いと幸福なのか」「学歴が高いと幸福なのか」「人間関係…」「健康…」。人が感じる「幸福感」は何に関係しているのかという研究です。

結論は、人生の様々な場面において、つまり「進学」「就職」「結婚」など、重要な人生の岐路に立った時、「自己決定」をしてきたかどうか「幸福感」に影響を与えるということでした。どのように生きていったらいいのか迷った時に、親や学校の先生のアドバイスはもちろん必要ですし、耳を傾けてほしいですが、最後は自分の進むべき道は「自分で決めて」歩んだ子は「幸福感」を高く持っているようです。小さなころから「自己決定」をしてきた子は、たとえ、その決定が思い描いた未来につながらなくても、責任を、他人任せにしません。親のせいにもしません。むしろ、次の新たな選択、決定を探します。ベスト、ではなくてもセカンドベストを探すのです。子供たちが、よりよい「自己決定」ができるように、見守り、育てることは「過度に手を貸す」「失敗させないように先回りする」ことではないのです。子供たちの「幸福な未来」のために「自分で決める力」を身につけさせたいと思います。